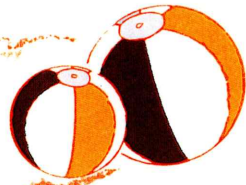


# 紙ふうせん



第111号

2020.9.25

(特集) 抗血栓療法①～抗血小板薬～、十五夜の月見  
発行責任者：日高 誠

<http://www.health-kikaku.co.jp/>

## 特集 抗血栓療法① ～抗血小板薬～



血栓症とは、血管の中に血のかたまり（血栓）ができ、血管がつまることで起こる病気で、動脈でできる動脈血栓症と静脈でできる静脈血栓症があります。

抗血栓療法とは、血栓症を予防、または再発を防止するための治療法で、大きく分けると抗血小板療法と抗凝固療法の二つがあります。皆さんがよく耳にする『血液をサラサラにする薬』が用いられます。

心筋梗塞・脳梗塞・末梢動脈血栓症などを引き起こす血栓は、動脈でできやすく血小板の作用が大きく関係するため、『抗血小板薬』が用いられます。また深部静脈血栓症・肺塞栓症を引き起こす血栓は、血液の流れが遅い静脈でできやすく、凝固因子の作用が大きく関係するため、『抗凝固薬』が用いられます。今回は抗血小板薬について解説します。

血小板の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液成分のひとつ</li> <li>身体の組織や血管が損傷すると患部に集まり止血する</li> </ul>
血栓ができる原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液の流れが早い動脈では、年齢とともに血管が傷つきやすくなり、修復を繰り返すため血栓ができやすくなる</li> <li>高血圧症、脂質異常症、糖尿病、肥満、喫煙、大量飲酒等によって、動脈硬化が進み血栓となる</li> <li>夏季は脱水により血液の粘度が高まり血栓ができやすい</li> </ul>
治療が必要な疾患	心筋梗塞、非心原性脳梗塞（アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞）、狭心症、閉塞性動脈硬化症、一過性脳虚血発作、冠動脈バイパス術後など
抗血小板薬の種類	アンプラグ（サルボグレラート）、エパデル（イコサセント酸エチル）、エフィエント（プラスグレル）、バイアスピリン（アスピリン腸溶錠）、ケアロードLA（ベラプロストナトリウム）、パナルジン（チクロピジン）、パファリン（低用量アスピリン・ダイアルミネート配合）、ブラビックス（クロピドグレル）、プレタール（シロスタゾール）、他

治療法によっては、一定期間2種類の薬を併用し、経過を見て1種類に減らしていく場合もあります。また、抗血小板薬と抗凝固薬の両方が必要になる場合もあります。

薬を服用すると副作用など、不安に思うことがあるかもしれません。下記を参考に当てはまるのであれば、主治医に相談してください。

副作用	内出血、鼻出血、歯茎からの出血、血痰、出血が止まりにくい、発熱、喉の痛み、そう痒感、食欲不振、胃の不快感、頭痛、倦怠感など
服用上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>出血傾向が続く場合には、医師に連絡する</li> <li>アスピリンは、喘息を誘発する可能性がある。また消化性潰瘍がある方は、症状を悪化させることがある</li> <li>シロスタゾールは、グレープフルーツを摂取すると血中濃度が高まり、薬の効果が強くなって副作用が出やすくなる</li> <li>他の薬との飲み合わせによって、効果が強くなる場合がある。薬が増えたときは、医師・薬剤師に確認する</li> <li>出血を伴う検査や手術・歯科治療のときは、事前に薬を止める場合がある。種類によって中止期間が異なるので予め確認する</li> </ul>

ご自身の薬を正しく理解し、用法・用量を守って服用しましょう。また高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの基礎疾患もきちんと治療を継続し、肥満、喫煙、大量飲酒等の生活習慣の改善を心掛けましょう。（折原）

### 今月の小ネタ

### 十五夜の月見



十五夜とは、旧暦8月15日の夜のことで、現在の日付に直すと毎年異なり、今年は10月1日となります。十五夜の月見は平安時代に中国から伝わり、貴族が楽しむ行事とされていました。江戸時代には庶民の間にも広まり、収穫した作物を供えて感謝する意味合いが強かったようです。

#### 十五夜は満月になる？

満月となることが多いですが、月の周期には少し幅があるため、十五夜と、満月の日は最大で2日程度ずれることがあります。今年の満月の日は10月2日なので、十五夜とは1日ずれます。



十五夜とは別に「十三夜」も月見の日とされており、今年は10月29日です。秋の夜長を楽しみつつ、中秋の名月を觀賞してみたいかでしょうか。（吉澤）

いちご薬局 かりん薬局 すみれ薬局  
つくし薬局 さくらんぼ薬局 いちご薬局北店